

町議会だよい



● 板柳町の夢追人
～仕事も趣味も楽しめます！～

主な内容

- 3人が一般質問 P 2~4
- 常任委員会審査 P 5~6
- 決算特別委員会 P 7~8
- 審議結果、議会の動き P 9
- 公開討論会 P 10~14
- 視察研修レポート P 15
- 夢追人インタビュー 裏表紙

町民の声を町政に

第3回定例会一般質問

第3回板柳町議会定例会が令和6年9月6日から13日までの日程で開催されました。9月9日に行われた「一般質問」に、3名の議員が登壇し質問しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。

一般質問コンテンツ

- P2：葛西幸男議員
- P3：佐藤聖也議員
- P4：工藤大明議員

一般質問の詳細は
YouTubeでご覧いただけます。



↑葛西幸男議員の動画へ



葛西幸男

問 改正道路交通法により、令和5年4月1日から全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務化された。自転車乗用中の交通事故で亡くなられた方は、約5割が頭部に致命傷を負つており、また、ヘルメットを着用していない方が、その致死率は着用していた方に比べて約9倍高くなっている。

答 (葛西町長) 管内小学校の一般道路での自転車の乗用については、南・小阿弥・東小学校は3年生以上、北小学校は4年生以上を対象としており、自転車の交通安全教室を実施しながら運転を許可している。ヘルメットの着用については努力義務であるものの、小学校としては着用するよう推奨していることである。

助成については、今ところ二~ズ等を十分に把握していないが、児童を交通事故から守るためにきちんと着用していただきたいと考えている。

そのため、他市町村におけるヘルメット助成の取組状況を調査しながら検討していく。

町民祭での相手方の特産品の販売や、災害時等における相互応援など、ともに発展・成長していく可能性があると思う。

人口規模などが同じくらいの自治体が良いと思うが、そのような考えはあるのか伺う。

北海道の豊浦町といふ00人の小さな漁業の町を友人と訪問したときに、お土産としてリンゴを持って行ったら大変喜んでくれたこともありますので、よろしくお願ひしたい。

自転車のヘルメットについて

当町では基本的に、小学校4年生から一般道路での乗用が可能であると思っているが、小学生の交通事故の被害を軽減するために、小学校4年生から6年生までの生徒にヘルメットを助成することは考えられないか伺う。

問 青森県は子どものヘルメット着用率が低いという話もあるため、早めに全員に助成したほうが良いのではないかと思う。

答 (葛西町長) 災害時の相互支援なども大事な要素と考え、候補地を含め議員の皆さまからも情報をいただきながら、お力を借りしながら調査研究をしてまいります。

国内における交流都市について

問 板柳町はアメリカ合衆国ワシントン州やキマ市と姉妹都市提携を、北京市昌平区とは友好協定を結んでいる。それぞれ交流事業等を行っており、子どもたちの国際感覚を身につけることなど、当町の発展に寄与していると考えているが、現在、国内での交流都市などはない状況にある。

答 (葛西町長) 先ほども申し上げたとおり、調査研究しながら、皆さん納得いくのが良いと今の段階では思っているので、考えてみてもらいたい。

一般質問

問 緒の利便性向上などを目的的に、CODMON（「ドモン」）を導入したが、このシステムの安全性とセキュリティ対策について説明いただきたい。

②公共施設等におけるWi-Fi環境の整備について、具体的な状況を伺う。

答 (葛西町長) ①このたび板柳町では、家庭と学校間の連絡がスマートフォン等で行

問 ① 8月18日に実施された住民投票の結果を受け、町長及び教育長はどのように感じたか。
② 小学校を改修し統合を進めるこになつた場合、児童や保護者が地域による格差を感じることな

③これまで四校で行われていたものが一校になることで、予算面を含む運営の効率化が図られ、設備の充実や、多くの仲間と一緒に過ごせるといった環境面でも大きな改善が期待される。

問 財政面を考慮して南小学校の長寿命化改修案が提示されたのであれば、学童クラブの新設についても、同様に財政面を十分に考慮する必要があると考える。

ればならない問題だと思つてゐる。
財政面での合理性と地域の公平性の両立を図りながら、地域全体の利益に資する決定をしていただきたい。

一般質問の詳細は
YouTube でご覧いただけます。



↑佐藤聖也議員の動画へ



DX推進について

うことができる保護者連絡システム、CoDMON を導入した。国際規格にのつとつた情報セキュリティ強化に努められていることから、このシステムの安全性は高いものと認識している。

②板柳町フリー Wi-Fi を役場、ふるさとセンターや、あふるの三カ所に設置している。

しかし、アンテナの老朽化や、Wi-Fi の新たな規格に対応する必要もあるため、具体的な時期は決まっていないが機器の更新は必要と考えている。

①複式学級や学校施設の老朽化といった問題に、いよいよ取り組んでいくものと実感している。

②児童が登下校、教育活動、地域クラブの活動などで不便や格差を感じることがないよう、進めてまいる。

また、小学校から距離が離れている地域の保護

答 (葛西町長) 浮いた分は、子育て世帯の方に充実していくたいと考えてい。

答
(葛西町長)

く、全ての子どもたちが平等に学べる環境をどのように整えていくのか。

軽減にもしつかり配慮し、長寿命化改修にして本当に良かつたと言われるよう取り組んでいく。

例えば板柳中学校に隣接した学童クラブというやうな一拠点での運営が可能かどうか伺う。

例えば板柳中学校に隣接した学童クラブというような二拠点での運営が可能かどうか伺う。

答 (葛西町長) 統合に向けて、PTAや地区的代表者を含め、小学校統合準備委員会を設立する。その中で、学童クラブについてもいろいろ議論されると思つ。小学校のみならず、二拠点での運営は可能なのか。

答 (葛西町長) これからスタートしていく中で、皆さんと協議しながら進めてまいりたいと考えているので、ご理解いただきたい。

問 統合小学校の令和10年4月の開校を目指すためには、学童クラブも同時に考えていかなければならぬ問題だと思つておる。

財政面での合理性と地域の公平性の両立を図りながら、地域全体の利益に資する決定をしていただきたい。

答 住民投票で決まった結果を考慮し、今後の統合小学校の整備スケジュー
ルについて伺う。
(葛西町長)
8月18日の住民投票の結果を受けて、板柳南小学校を統合小学校とし
て長寿命化改修し、早期

問 停滞していた統合小学校問題、住民投票により「南小学校を統合小学校として長寿命化改修をする」が多数となつた。

統合小学校について

一般質問の詳細は
YouTubeでご覧いただけます。



↑[藤大明議員の動画へ](#)



問 統合小学校の開校時期は、遅れることができない綿密なスケジュールが求められると思うが、その辺の対応は十分吟味していただきたい。

コテージの直近の利用状況について伺う。
（葛西町長）

ふるさとセンター テージの有効活用に ついて

令和6～7年度にかけて基本設計、実施設計業務、そして令和8～9年度にかけて、校舎、体育館、野外施設等の長寿命化改修工事を実施する。

答 中学校の特別教室のほか、町公共施設への移設が可能かについても検討していきたい。

問 普通教室にはエアコンが設置されているが、その他特別教室にも設置することはできるのか。

答
(葛西町長)

に小学校の統合を進めていきたいと考えている。今後のスケジュールだが、令和10年4月の統合小学校開校を目指して取り組んでまいる。

ジユールだが、議員の皆様と議論をしながら、間に合わせるように進めたいと考えている。

3万円稼働率71%で、令和4年度は利用者数3,487人、利用棟数1,210棟、宿泊料金収入1,554万円、稼働率55%であった。

答 現状では、1泊ごとに1ポイント進呈し、5ポイントでお食事サービス、10ポイントで1名様宿泊無料などといったサービスを行っている。

問 少人数で宿泊できるような施設があると、出張などいろいろな利用方法が出てくると思うが、いかがか。

問さらなる集客を目指し、年間利用バスや回数券などの仕組みを考えてはいかがか。

議会を傍聴しませんか 次の定例会は12月です

＜議会日程のお知らせ（予定）＞

日 時	内 容
12月2日(月) 午前10時	開会
12月4日(水) 午前10時	一般質問
12月5日(木) 午前10時	各常任委員会
12月6日(金) 午前10時	採決・閉会

傍聴者名簿に住所、氏名、年齢を記入していただければ、どなたでも本会議を傍聴することができます。ただし、発熱等の症状がみられる方はお断りする場合があります。



決算特別委員会 総括質疑

令和5年度の各会計決算を審議するため、議員全員で構成する決算特別委員会（委員長：葛西幸男議員／副委員長：三浦和馬議員）を設置し、9月12日に審議しました。数多くの質疑がありましたが、その一部を紹介します。

※令和5年度各会計決算の詳細については、広報いたやなぎ10月号に掲載されています。



こちらのQRコードからご覧いただけます。→

◎消防の備品購入

質問 非常用電源装置19

万5,580円あるが、ど

こに何台設置して、どういっ

た機能を備えているのか。

答弁 （工藤総務課長）

昨年の12月に、対策本部

用と役場に一台ずつ購入し

ており、機能としてはポーテリーである。

質問 今後、防災の備品を

増やしていく予定はあるのか。

答弁

（工藤総務課長）

今年度、避難所設営用の備品を随時購入して蓄えているところである。

◎青柳館改修工事

質問 青柳館男子大浴場梁

型改修工事とは、どのように工事なのか。

答弁

（山口商工観光課長）

男子大浴場の梁のモルタルボードが湿気により剥がれたため、バシリブという部材で表面を覆う工事を実施した。

質問 今年度行った工事とは関係ないのか。

答弁

（山口商工観光課長）

今年度の工事では梁の内

部を鉄骨に変更した。
外側はバシリブを使ったため、その点は昨年度と同じである。

度に528万円、福祉基金は平成16年度に2億3,900万円を取り崩して以降、約20年間動きがない状態で現在に至っている。

約20年間も動きがないものを基金とは言えない

のでは。

答弁 （工藤生涯学習課長）

多目的ホール「あぶる」

に関しては、多目的トイレにおむつの交換台は設置しているが、授乳室という専用の部屋はない。

ふるさとセンターホールの

多目的トイレにおむつ交換

台が設置されており、青柳

館には授乳室が設置されて

いる。

授乳室や、赤ちゃんのお

むつ替えができる多目的ト

イレも、前向きに検討して

内部で検討し、対応してい

ただきたいと思う。

答弁 （葛西町長）

施設に授乳室がない。

子育て支援を行うたうので

あれば、そういう部分も

内部で検討し、対応してい

ただきたいと思う。

答弁 （葛西町長）

授乳室や、赤ちゃんのお

むつ替えができる多目的ト

イレも、前向きに検討して

設置していかなければなら

ないと認識している。

8ページへ続く。

◎ふるさと納税

質問 業者に支払っている数千万円の委託料を、町独自で処理できるようなシステムの導入に充てた方が良いのではないか。

答弁 (葛西町長)

現在ふるさと納税の業務は、税務会計課から商工観光課に移管している。

施設の管理や祭りなどの業務もあるため、課長も含めて精査して検討していく。

質問 ふるさと納税の収入はどういったものに使われているのか。

答弁 (会津企画財政課長) 寄附していく際に、どのような目的に使用するかを選択できるようになつており、その目的に合致するような事業に充当している。

質問 アプリケーションは、小学校も中学校も同様のものを使用しているのか。

答弁 (田中学務課長) 小中ともに同様のタブレット端末用ソフトを使用している。

質問 どういったアプリなのか。

答弁 (田中学務課長)

eライブラリというソフトで、家庭用タブレットで学習できるようなソフトになつていて。

◎調査結果を踏まえて、町として対策などがあれば伺いたい。

質問 危険な空き家は、親族の方などに連絡をとっている。

答弁 (工藤総務課長)

へ、約1億円の交付金が人件費として出されていると思うが、その金額が上がらなければ、職員の給料も上がりないとということになるのか。

質問 町からりんごワーク部改修が1件、彩菜館の移転にかかる経費が1件の計2件となつてている。

質問 昨年、町では空き家の実態調査を行つているとと思うが、その調査には空き店舗も含まれているのか。

答弁 (山口商工観光課長) 令和5年度は、役場を出て左側にある介護施設の内2件となつてている。

質問 空き店舗利活用推進事業費補助金150万8,000円の内訳はどのようになつてているのか。

答弁 (山口商工観光課長)

令和5年度は、役場を出

て左側にある介護施設の内2件となつている。

質問 いつ時点の数値なのか。

答弁 (工藤総務課長)

令和5年12月27日現在の数値である。

答弁 (葛西町長)

りんごワークからもきちんととした数字を報告してもらい、毎年ベースアップはしてもらつていて。職員あつてのりんごワークなので、少しでも還元できるように頑張つていただき。

質問 以前りんごワークの補助金が2,400万円ほど上がつていて、当時の課長は職員の給料分だという話をしていた。

質問 2,400万円増えたことによって、少しでも給料は増えているのか。

質問 以前の2,400万円の増額は、コロナ禍で人件費を減らして経営していたものを、新たに雇う部分の人件費であったので、給料が上がるということはなかつた。

質問 何年も働いていても給料が上がらないのであれば、職員が辞めていき、リンゴジュースの搾汁も今よりさらに厳しくなつていくのではないか。

質問 予算を上げて職員の給料を上げていかなければ、仕事に対するモチベーションも上がらないのではないか

要望 町のために働いてくれている方々なので、できるだけ時代に合つた、それなりの予算をつけながら頑張つていただけるようにしてもらいたいと思う。

要望

町のために働いてくれ

れている方々なので、でき

るだけ時代に合つた、それ

なりの予算をつけながら頑

張つていただけるようにし

てもらいたいと思う。

◎商工の活性化

質問 アフターコロナ飲食の事業だと思うが、今後もコロナではなくてもそういった支援は続けていくのか。

答弁 (山口商工観光課長)

商工会からの希望があり、実施につなげていただきたい。

質問 先ほどふるさと納税の話で、寄附する際に目的を選べるということだったが、その中に商工関連の項目はあるのか。

質問 項目は五つあるが、「自治体にお任せ」という項目の寄附金を、商工関係に充當している。

質問 財政を考慮していくには、経済面を工夫して町の発展につなげていかなければと思っている。

要望 町のため働く人々のための支援金を充てて町の発展につなげていかなければと思っている。

要望

町のため働く人々のため

の支援金を充てて町の発

展につなげていかなければ

と思っている。

一目で分かる審議結果

審議された議案等		結果	工藤大明	佐藤聖也	會津大郎	三浦和馬	工藤貢	濱名康治	佐藤文俊	鈴木清孝	葛西幸男	長内良藏	佐藤洋治
◇第3回定例会(令和6年9月13日)													
同意第2号	板柳町教育委員会委員の任命につき同意を求ることについて(泉隆子氏)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	板柳町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	板柳町子ども・子育て会議条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	板柳町地方活力向上地域にかかる固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	板柳町国民健康保険条例の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	青森県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和6年度板柳町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和6年度板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和6年度板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	令和6年度板柳町介護保険特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	令和6年度板柳町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	令和6年度板柳町一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和5年度板柳町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和5年度板柳町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和5年度板柳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和5年度板柳町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和5年度板柳町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和5年度国民健康保険板柳中央病院事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	令和5年度板柳町水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第8号	令和5年度板柳町公共下水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	令和5年度板柳町一般会計継続費精算報告書について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第4号	令和5年度板柳町農業集落排水事業特別会計継続費精算報告書について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第5号	令和5年度板柳町健全化判断比率の報告について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第6号	令和5年度板柳町資金不足比率の報告について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第7号	私債権の放棄に関する報告について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
報告第8号	一般財団法人板柳町産業振興公社りんごワーク研究所経営状況の報告について	報告のみ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

○:賛成 ×:反対 欠:欠席 ※議長は採決に加わらない

議会の動き (7月～9月)

開催日	会議等名	開催日	会議等名
7月	1日 議会運営委員会	8月	6日 例月出納検査(監査)
	〃 議員全員協議会		8日 公開討論会①
	2日 議会運営委員会		11日 公開討論会②
	〃 議員全員協議会		20日 新人議員研修会
	〃 第3回臨時会		23日 西北五広域福祉事務組合定例会
	5日 議会広報特別委員会		27日 議員全員協議会
	8日 例月出納検査(監査)		30日 議会運営委員会
	16日 議員全員協議会		6日 本会議(開会、定例会日程・町長の提案理由等)
	17日 県下町村議会議員研修会		9日 本会議(一般質問:3名)
	23日 議会広報特別委員会		10日 例月出納検査(監査)
9月	24日 議会運営委員会		11日 総務産業厚生常任委員会
	〃 第4回臨時会		〃 福祉建設文教常任委員会
	〃 議会運営委員会		12日 決算特別委員会
	29日 西北津軽郡町議会議長会第1回協議会		13日 本会議(委員長報告、採決、閉会)
	30日 議会広報特別委員会		18日 原子燃料サイクル施設視察研修(六ヶ所村)
			25日 町村議会広報研修会

板柳町統合小学校整備に関する

公門討論會

令和6年8月8日（木）・11日（日）に多目的ホール「あぶる」において、公開討論会が開催されました。

8月18日（日）に行われた住民投票に向けて、町民のみなさまの意思決定に役立てるため、「板柳南小学校を統合小学校として、長寿命化改修を主張する議員」と「板柳中学校に隣接し、統合小学校の新設を主張する議員」による主張や討論をのべ、参加者（町民）からの質問に答えました。

P10~12 : 各議員の主張
P13~14 : 町民からのQ&A

今浩一議員
(南小を長寿命化改修)

板柳町には他町にはない、北小学校と南小学校といふ、板柳町の小学校全児童が入る大きな学校が二つある。

例を挙げると、鶴田小学校は新築をして統合しているが、それは全児童が入る規模の学校がないためである。

これから小学校の他にも、町の防災・行政の拠点となる役場庁舎、旧板柳高校の跡地利用、そして皆さんの安心安全を守る消防団の屯所など、これから数々整備していくかなければならぬない。

どちらも莫大な予算がかかることは、誰もが予想できることであり、将来板柳町の子どもたちに大きな負担を残すのではないかという考えで、町が推している南小学校を長寿命化改修するという案に賛成している。

（南小を長寿命化改修） 會津大郎議員

三浦和馬議員

(南小を長寿命化改修)

板柳町はこれから、役場をはじめいろいろな施設の改修や、建物に関する事業がたくさんある。

その中で、学校だけに予算をつぎ込むというのは難しいことだと思つてゐる。

しかしそれは、子どもたちの教育現場を辛抱するとのことではなく、教育現場の充実には十分にお金をかけるのだという改修内容となつてゐる。

教育現場と、未来の子どもたちの財政の不安の解消、それを両立できるのが南小学校を長寿命化改修するという町の案だと思つている。

佐藤聖也議員

(南小を長寿命化改修)

板柳町には老朽化施設がをはじめいろいろな施設の改修や、建物に関する事業がたくさんある。

その中で、学校だけに予算をつぎ込むというのは難しいことだと思つてゐる。

しかしそれは、子どもた

ちの教育現場を辛抱すると

いうことではなく、教育現場の充実には十分にお金をかけるのだという改修内容

となつてゐる。

今、無理をして小学校を新築すると、これらの建物に必要な事業が難しくなるのではないかと思つてゐる。

一番は持続可能な町づくりがあり、その下に教育があり、教育をしっかりと受けた子どもたちがさらに板柳町を考えるのだと私は思つてゐる。

そのため、建築物に多額のお金をかけるのではないか、それらを教育に費やす、それが本当に充実した教育を受けもらいたいと思っているので、南小学校の長寿命化改修に賛成という立場である。

上藤大明議員

(南小を長寿命化改修)

当町は今後、建物整備のとても多く、1970年代から1990年代にかけて建設された公共建築物が多

数存在しており、一般的に大規模修繕が必要となる30年を経過している公共建築物は全体の61・1%を占めている。

そして、20年後に児童数が大幅に減ることも予想されており、将来は現在の板柳中学校に小学校全児童が収容されてしまう。

そのため、板柳中学校隣

りがあり、その下に教育があ

り、長寿命化改修を選択することによって、国からの補助

なども受けられ、25年間で7億円という同じような金額で、素晴らしい学校に入

ることができる。

そのため、板柳中学校隣に新築をしても、20年後には不要になり、重すぎる負担になると思う。

将来を見据え、財源を無駄にせず負担の少ない、南小学校を長寿命化改修をしての統合が最適だと考えてゐる。

将来は、板柳町の児童・生徒がすべて板柳中学校に収まってしまうため、新築をしても負の遺産になってしまふ。

そのため、建築物に多額

のお金をかけるのではないか、それらを教育に費やす、それが本当に充実した教育を受けもらいたいと思っているので、南小学校の長寿命化改修に賛成という立場である。

佐藤文俊議員

(南小を長寿命化改修)

南小学校は、コンクリートの状態が非常に良く、それだけを残してすべて新しくするため、見た目は新築となる。

また、これから人口が減少していくなかで、将来町の財源の減収は容易に予想される。

また、長寿命化改修ではなく、ただ修繕をするだけでも5～8億円かかるが、

それでも5～8億円かかるが、

それでも5～8億円かかるが、

場所についても、南小学校は地域的に偏つており、遠距離からの児童の移動距離や通学時間が増え、保護者にとっても大きな負担となる。

将来は、板柳町の児童・生徒がすべて板柳中学校に収まってしまうため、新築をしても負の遺産になってしまふ。

そのため、建築物に多額のお金をかけるのではないか、それらを教育に費やす、それが本当に充実した教育を受けもらいたいと思っているので、南小学校の長寿命化改修に賛成という立場である。

長内良藏議員

(板柳中学校隣に新築)

町の改修計画は、施設のほとんどが全面改修工事であり、31億円もかける必要があるのか、築40年の建物にこれほどの費用をかけても、快適な学習環境が確保できるのか疑問と不安が残る。

また、議会にも請願書が提出されているほか、パブリックコメントの結果を見ても、ほとんどが新築を望んでおり、改修については少數意見である。

未来ある子どもたちのた

めに、保護者や町民の声に

しっかりと耳を傾け、板柳中学校の隣に統合小学校を新築するべきだと考えてい

公開討論会 (各議員の主張)

葛西幸男議員

(板柳中学校隣に新築)

統合小学校と中学校が同じ場所にあると、スクールバスを効率的に運行できるほか、小学校と中学校に子どもを持つ保護者にとっては、大変便利になると思つ。また南小学校は、板柳管内でも最も交通量が多い国道339号バイパスに面しており、通学路の安全確保や交通渋滞に不安が残る。

板柳中学校の隣に統合小学校を新築し、集約化することで、教育効果を高めることができるだけではなく、教育エリアとして取り組みを積極的に発信し、町の活性化にもつながると思う。

平成26年度と令和4年度の2度に渡り、検討委員会や審議会で板柳中学校の隣に新校舎の建築が提言されており、新築が最も適していると考えている。

工藤貢議員

(板柳中学校隣に新築)

板柳中学校の隣に新校舎を建築することで、小中連携、小中一貫教育の推進に大きな効果が期待できる。小中連携には様々なメ

リットがあり、小学校から中学校への接続をスマートに行うことができ、中一ギヤップや不登校、いじめの解消にもつながる。

財源については、四校の統合により、年間の小学校管理費が約8千万円削減することができ、さらに、一

今年の3月議会で、町側から提示された31億円の長

寿化改修工事の案は晴天の霹靂であり、支持者からの理解を得られるものではないというのが反対する最大の理由である。

パブリックコメントや要望書、請願書でも板柳中学校の新築を望む声が多く、地域性・利便性を重視して、小学校を新築することが一

いつたことは考えられない。さうに、建築する際のレバウトによつては、予算を削減することも可能だと思つ。

また、町でも基金を貯めているのに、今使わずにいる。町民の皆さんがあつて育っていくために負担にならないよう、小学校と中学校をひとつの中学校とした方が良いという結論に達した。

佐藤洋治議員

(板柳中学校隣に新築)

南小学校は当初、校舎、体育館、内部の改修で、設計、改修工事が1億7千7百万円程度のことであつたため、5億円程度での経費を抑えた改修を提言してきた。

今年の3月議会で、町側から提示された31億円の長寿化改修工事の案は晴天の霹靂であり、支持者からの理解を得られるものではないというものが反対する最大の理由である。

パブリックコメントや要望書、請願書でも板柳中学校の新築を望む声が多く、地域性・利便性を重視して、小学校を新築することが一つの結論に至った。

鈴木清孝議員

(板柳中学校隣に新築)

20年後には、板柳中学校に小学校全児童が収まるため、長寿命化改修をした南小学校は不要になるし、寿命もすぐになります。

また、小学校全児童が中学校に移転した場合、体育馆やグラウンドを新たに整備する必要があるため、新築をした方が一気に整備もできるため、利点も大きい。

経費の面については、町の基金があるため、町の財政が危機的状況になると、学校に送り迎えをしている保護者もいると思うが、新しい空間で現代に適した教育環境の方が良いのではないかと思う。

濱名康治議員

(板柳中学校隣に新築)

南小学校の長寿命化改修は、コンクリートの梁・柱だけを残してすべて改築するといったものだが、やはり子どもたちにとっては、新しい空間で現代に適した教育環境の方が良いのではないかと思う。

板柳中学校の隣に新校舎を建築することで、小中連携、小中一貫教育の推進に大きな効果が期待できる。小中連携には様々なメ

リットがあり、小学校から中学校への接続をスマートに行うことができ、中一ギヤップや不登校、いじめの解消にもつながる。

財源については、四校の統合により、年間の小学校管理費が約8千万円削減することができ、さらに、一

今年の3月議会で、町側から提示された31億円の長寿化改修工事の案は晴天の霹靂であり、支持者からの理解を得られるものではないというものが反対する最大の理由である。

パブリックコメントや要望書、請願書でも板柳中学校の新築を望む声が多く、地域性・利便性を重視して、小学校を新築することが一つの結論に至った。

また、町でも基金を貯めているのに、今使わずにいる。町民の皆さんがあつて育っていくために負担にならないよう、小学校と中学校をひとつの中学校とした方が良いという結論に達した。

公開討論会 (町民からのQ&A)

改修 南小学校長寿命化改修派議員
新築 板柳中学校の隣に新築派議員

5億円での改修は?

町民 5億という金額は前町長が話した金額である。現町長は選挙時には一般の人なので、金額については一言も触れておらず、現町長は5億円の話とは無関係である。

避難所としての役割は?

町民 現在四校ある小学校が一校に統合してしまうと、避難所としての役割はどうなるのかを考えを伺いたい。

改修 今後、残りの三校を町がどのように利用する

か、様々な選択肢があるが、一つの例として、不要になつた学校を売却する際の契約に、避難所として利用するといった内容を記載して、といった方法を記載するべきでは。

避難所としての役割を持たせるといった方法もある。

議論に時間が必要では?

町民 南小学校の長寿命化改修をしても、将来子どもが少なくなると中学校にすべての児童生徒が入れるということだが、もう少し時間をかけて議論した方が良いのではないか。

改修 統合小学校の計画のきっかけが、東小学校の複式学級を解消するためである。

東小学校に小阿弥小学校の生徒が移転すると、一時的には複式学級が解消されるようになつてきている。

それも踏まえ、町の中心である板柳中学校の場所に新築をする必要があると思う。

さらに、空港とつながる津軽横断道路も開通すると、物資の搬入面でも利点が出てくると思う。

改修 今後、残りの三校を町がどのように利用する

費用の返済方法は?

町民 新築または長寿命化改修にかかる金額の返済方法は。

改修 どちらにしても、町の税収で支払っていくことになる。

税金が上がることはな

いのか。
改修 この場で断言はできな

いが、町の借金が増え

人口は減るということになると、町として町民に出している補助金をカットするなど、なにか処理する可能性は否定できない。

いつから新築派に?

町民 当初、長寿命化改修でも新築でもなく、さら

に費用を抑えた最低限の改修派だった議員は、意見を新築に変えたのはいつで、住民の方に説明はしているのか。

新築 パブリックコメントを拝見し、各町内から要望書や請願書が提出され、町民の声を大事にしたいと会派で議論をした。

支持者の方には新築の考

町民 支持者の方への説明では同意を得られたのか。

新築 その考えはもつともだ

ということで、JR理解

はいただいていい。

他の施設にお金は使える?

町民 学校を建てるのに財産をすべて使つてしまふと、他の施設にお金が使えなくなつてしまふのでは。

新築 新築することによって他の施設を修繕することができなくなるというこ

とにはない。

いろいろな基金や国の交

付金があるので、知恵を絞つて皆さんに負担をかけないような、よりよい町を目指していく。

交通災害の対策は?

町民 中学校の場所は道路が狭く、南小学校の場所は国道339号に面して交通量が多い。

どちらもメリットとデメ

リットがあると思うが、交通事故を起こさないための対策について伺いたい。

改修 敷地を広くしたうえで、スクールバスなどで送迎ができるよう、建物の完

成に合わせて整備していく。

新築 安全性を考え、周辺道路を整備していく必要があると感じている。

つつ、突発的な予算が必要になつた場合も対応できる

ということで、長寿命化改修に賛成している。また、町の基金には様々な用途があり、約40億円をすべて小学校の建築に使われるのではない。

40億円の基金をすべて使用してしまふと、災害など不測の事態に対応できなくなるため、危険であるということを理解いただきたい。

公開討論会 (町民からのQ & A)

改修 南小学校長寿命化改修派議員
新築 板柳中学校の隣に新築派議員

改修 学生が同じ方向に向かうことになり、自動車だけではなく中学生の自転車にも気をつけなければならず、小学校低学年には特に危険だと思うが、対策等はあるのか。

新築 道路が狭く危険な通学路がいくつもあるが、将来的には道路の拡張なども視野に入れていきたい。

改修 町民 総合小学校として北小学校ではなく、南小学校を選定した理由を伺いたい。

なぜ南小学校なの?

自転車も危ないのでは? なされていない。以上のことから南小学校を選択した。

改修 ①北小学校よりも南小学校の周辺にいる児童数が多い。
②児童数が多いということは、スクールバスの台数を減らすことができる。
③北小学校は学校までの道路が狭く、バスがリターンする事が困難であるが、南小学校の場合は周辺の用地を一部買収することで、大型バスが入ってくることができる。

改修 町民 沿川地区からは役場や農協も遠方にあり、南小学校はさらに遠く、沿川地区はないがしろにされているのではないかと感じる。

遠方への対応は?

改修 町民 以前の説明会で、北小学校は2階に職員室があるため、防犯上通していないという話があった。
南小学校の改修期間中、児童は北小学校に移動することになるが大丈夫なのか。

改修 町民 沿川地区からは役場や農協も遠方にあり、南小学校はさらに遠く、沿川地区はないがしろにされているのではないかと感じる。

改修 町民サービスが困難になるのではないかと思うが、双方の意見を伺いたい。
新築 建築にかかる金額すべてが町の負担になるわけではなく、国からの補助金や貯めてきた基金もあるので、税金を上げるということはあり得ない。

改修 町民 沿川地区からは役場や農協も遠方にあり、南小学校はさらに遠く、沿川地区はないがしろにされるのではないかと感じる。

改修 町民 小学校だけを考えるとたしかにそうかもしないが、これから町として実施していくなければならない事業が数多くある。そのため、少しでも経費を抑えることができる長寿命化改修が良いと考えている。

改修 町民 公開討論会はYouTubeでもご覧いただけます。

8月11日(日) 8月8日(木)

新築 町民 20%を超えるとお金が借りられなくなるため、18%という数値はイエローラードである。

改修 町民 これから役場や旧板柳高に小学校全児童が移動してきた場合、小学校用のグラウンドや体育館など、追加で負担が出てくるのであれば、新築をした方が良いの

教育環境は十分に整えるので、その点に関してはどちらの場合でも同様だと思っている。

新築 実質公債費比率というものが25%を超えると制限が出てきて、35%を超えると、財政再建団体となる。

改修 町民 令和5年3月31日現在で、町の実質公債費比率は約11%であり、新築や長寿命化改修をすることで規制がかかる比率まで上がるとは思えない。

改修 町民 もちが安心して勉学に努められるような町を目指しているのであれば、会派を超えて板柳町のために、ぜひひと汗を垂らして意見を交わして頑張ってもらいたいと思う。

町民からのお願い! ではないかと考えている。



視察・研修 レポート

六ヶ所原燃 サイクル施設視察研修



鶴田町議会と合同実施

日 時：令和6年9月18日（水）

場 所：六ヶ所村「日本原燃株」

参加者：今浩一議長、葛西幸男副議長

三浦和馬議員、會津大郎議員、

佐藤聖也議員、工藤大明議員

研修内容

P R 館 → 濃縮工場 → 低レベル埋設地

→ 再処理展示コーナー → 高レベル管理施設

→ 安全対策工事現場

町村議会広報研修会



日 時：令和6年9月25日（水）

場 所：東京都「ニッショーホール」

参加者：議会広報特別委員会委員

（濱名康治委員長、工藤大明副委員長、

工藤 貢委員、會津大郎委員、

佐藤聖也委員）

研修内容

1. 読まれる議会広報誌の作り方

2. パッと伝わる広報誌に！

やってはいけないデザイン講座

3. 「読まれない議会だよりに出す意味なし」

聴く・動く寄居町議会の挑戦

狼柳町議会応援団！！ 青森県民 スポーツ大会



7月20日（土）・21日（日）
7月27日（土）・28日（日）

青森県民駅伝 競争大会



9月1日（日）



ひじいゆうた
肘井優太さん
23歳／栄町

神奈川県出身の肘井優太さん。高校卒業後に七戸町の岩農大学校へ入学。2年間農業について勉強し、現在は板柳町でリンゴ農家を営んでいます。

板柳町におじさんが住んでおり、幼少期からりんご作業の手伝いをしに来ていた経験から、リンゴ農家になろうと決めていたそうです。

自分で約13,000m²のリンゴ畠を所有し、6種類のリンゴを栽培しているほか、おじさんの畠の手伝いもしているとのこと。

将来の夢は「リンゴ農家として稼ぎ、趣味の魚釣りなどをして楽しく過ごすこと」と話してくれました。

10月に入り秋も深まってきて、朝晩の冷え込みはあるものの、いまだに最高気温が20度を超える日々が続いております。

近年の気候変動により、りんごも影響を受けており、凍霜病や高温による日焼けなど様々な害が出てきていますが、価格のほうは高値で取引されており、生産者からは喜びの声も上がっています。

今年も色々なことがあります。またが、あと少しです。りんご農家の皆さん頑張りましょう。

(委員 會津大郎)

【発行責任者】

議長 今 浩一

※第44号発行予定は、
2月7日頃です。議会だ
よりへのご意見・ご感想
をお聞かせください。

編集後記

■発行／板柳町議会 ■編集／板柳町議会広報特別委員会

〒038-3692 青森県北津軽郡板柳町大字板柳字土井 239-3 TEL:0172-73-2111 FAX:0172-73-2120

URL <https://www.town.itayanagi.aomori.jp/gikai/index.html>